

都市間競争を勝ち抜く 仙台の観光のあり方

を考えるシンポジウム **オンライン**

本市では、2019年度より「仙台市交流人口ビジネス活性化戦略」(~2021年度)に基づき、交流人口拡大に向けた取り組みを進めてきました。

このたび、2022年度からの新たな戦略の策定にあたり、新型コロナウイルス感染症の影響によって大きく落ち込んだ交流人口の回復やアフターコロナを見据えた観光のあり方を検討するため、観光や地域づくり等の専門家の方々をゲストに迎え、オンライン形式によるシンポジウムを開催します。

令和3年

9月13日

17:00~19:30

登壇者

アフターコロナ時代の インバウンド観光と地方創生



加藤 史子氏

WAmazing株式会社
代表取締役CEO

慶応義塾大学環境情報学部(SFC)卒業後、1998年に(株)リクルート入社。「じゃらんnet」の立ち上げ、「ホットペッパーグルメ」の立ち上げなど、主にネットの新規事業開発を担当した後、観光による地域活性化を行う「じゃらんリサーチセンター」に異動。スノーレジャーの再興をめざし「雪マジ!19」を立ち上げ。その後、仲間とともに「Jマジ!」「ゴルマジ!」「お湯マジ!」「つりマジ!」...など「マジ☆部」を展開。国・県の観光関連有識者委員や、執筆・講演・研究活動を行ってきたが、「もう1度、本気のスケーラブルな事業で、日本の地域と観光産業に貢献する!」を目的に、2016年7月、WAmazingを創業。

国内外からの交流人口のさらなる 拡大と地域経済の活性化を目指して



高橋 一夫氏

近畿大学経営学部
教授

専門は観光マーケティング、観光事業論、地域ブランド論。大阪府立大学大学院経済学研究科博士前期課程修了。1983年JTに入社。2006年コミュニケーション事業部長を最後に退職。在職中は2001年東アジア競技大会招致概要計画書の策定、2002年ライオンズクラブ国際大会大阪大会、及び2004年ロータリークラブ国際大会大阪大会の招致事業に従事。2007年流通科学大学サービス産業学部教授。2012年より現職。2020年5月から東大阪ツーリズム振興機構理事長兼職。

これからの都市間競争を勝ち抜く 新しい観光施策



藻谷 浩介氏

株式会社日本総合研究所
主席研究員

平成合併前の全3,200市町村、海外114ヶ国を自費で訪問し、地域特性を多面的に把握。地域振興、人口成熟問題、観光振興などに関し研究・著作・講演を行う。2012年より現職。著書にデフレの正体、里山資本主義(共にKADOKAWA)、世界まちかど地政学Next(文芸春秋)など。近著(共著)に進化する里山資本主義(JapanTimes)、東京脱出論(ブクマン社)。



郡 和子 仙台市長

参加方法

以下のURLまたはQRコードからご視聴ください

<https://youtu.be/k7p0cim7mvs>



問合せ先 / 仙台市文化観光局観光課 TEL 022-214-8259

主催：仙台市